

地球微生物学の最前線—表層から海底下まで

主催

- ・ 広島大学 先進理工系科学研究科 地球惑星システム学プログラム
- ・ 海洋研究開発機構 高知コア研究所
- ・ 広島大学未来創生科学人材育成センター

共催

- ・ プレート収束域の物質科学研究拠点 (HiPeR)

【日時】 2023年12月1日(金曜日) 13:00～16:30

【場所】 広島大学東広島キャンパス図書館ライブラリーホール + オンライン

【概要】 地球は生命の惑星である。特に微生物は、表層環境から地下深部まで存在し、地球の諸現象に多大な影響を与えている。本シンポジウムでは、地球科学・微生物学の融合を推進する研究者を招き、地下生命圏・ゲノム発現・元素分配・鉱物資源・地球史などに関する研究の最前線にせまる。

【プログラム】

開会の挨拶 柴田 知之 (広島大学・地球惑星システム学プログラム長)

1. 13:05～13:35 星野 辰彦 (海洋研究開発機構／広島大学)
海底下微生物群集の適応と進化
2. 13:35～14:05 實野 佳奈 (早稲田大学)
超深海に生息する微生物の生態系をシングルセルゲノム解析から明らかにする
3. 14:05～14:35 末永 俊和 (広島大学)
亜酸化窒素を還元する微生物とその利用可能性

～休憩 (15 分) ～

4. 14:50～15:20 諸野 祐樹 (海洋研究開発機構／広島大学)
生命系研究技術の環境適用と限界
5. 15:20～15:50 鳥海 光弘 (海洋研究開発機構)
細胞のゲノム発現ネットワークシステムとその統計力学
6. 15:50～16:20 白石 史人 (広島大学)
微小領域観察から明らかにする微生物の炭酸塩鉱物形成過程

閉会の挨拶 廣瀬 丈洋 (海洋研究開発機構・高知コア研究所 所長)

入場は自由です。お気軽にご聴講ください。

問い合わせ先

広島大学
海洋研究開発機構

白石史人 (fshirai@hiroshima-u.ac.jp)
星野辰彦 (hoshinot@jamstec.go.jp)